

第43表

業態別体位の比較(女子)

年 令	身 長				体 重			
	生産者世帯		消費者世帯		生産者世帯		消費者世帯	
	cm	対前年 増 減	cm	対前年 増 減	kg	対前年 増 減	kg	対前年 増 減
1才未満	62.6	- 0.4	65.4	+ 0.6	6.79	-0.02	7.38	-0.01
1	77.3	+ 1.2	77.7	+ 0.6	9.83	+0.41	10.08	+0.22
2	84.7	+ 0.1	86.7	+ 0.2	11.47	+0.05	12.02	-0.03
3	92.4	+ 0.5	93.4	- 0.2	13.42	+0.29	13.83	-0.01
4	98.9	+ 1.7	100.2	+ 0.3	14.87	+0.22	15.40	+0.03
5	104.2	0	106.7	+ 1.4	16.42	-0.11	17.09	+0.17
6	110.1	- 0.3	111.3	- 0.2	18.17	-0.24	18.64	-0.02
7	115.6	- 0.2	117.1	+ 0.7	20.16	-0.44	20.88	+0.20
8	120.2	- 1.6	121.1	- 1.0	22.39	-0.49	22.50	-0.56
9	125.3	- 0.7	126.9	- 0.6	24.73	-0.69	25.30	-0.44
10	131.3	- 0.7	133.6	- 0.5	27.96	-0.12	29.05	+0.01
11	139.1	+ 0.2	139.5	+ 1.5	32.76	+0.36	32.21	+0.13
12	143.1	- 0.9	146.1	+ 0.9	35.83	-1.33	38.63	+1.21
13	147.2	- 0.7	150.0	+ 0.3	40.31	+0.01	42.05	+0.39
14	150.1	- 0.8	151.5	0	45.68	+0.16	44.58	+0.22
15	151.6	+ 0.1	153.3	- 0.6	46.95	-1.85	48.04	-0.28
16	153.4	- 0.1	154.0	+ 1.6	50.00	-0.80	49.48	+0.38
17	152.3	- 1.6	154.0	+ 0.7	50.04	-2.20	50.66	+0.42
18	152.4	+ 0.9	153.1	+ 0.1	51.37	+1.97	49.32	-1.00
19	150.6	- 2.7	153.1	+ 0.4	49.50	-2.48	50.16	+0.48
20	152.8	- 0.2	153.0	0	50.99	-0.45	49.69	+0.17

比較すると第9図のとおりで生産、消費の両世帯間に特に大きな差異は認められないが、最高血圧は生産者世帯が僅かに消費者世帯を上回っている。

両世帯ともに40才をこえると最高血圧が急激に上昇する傾向は例年のとおりである。

最低血圧については両世帯間に目立つほどの差異は認められない。

また、性別にみても業態別の男女間で特に大きい差はみとめられない。

C 世帯別・栄養摂取状況調査成績

国民栄養調査では各世帯の最多収入者の職業分類によって、生産者世帯、消費者世帯、その他の世帯の3業態に分類して集計し、業態別成績或いは全国成績として1人1日当りの平均値で示されていた。しかし、世帯別の栄養状態は、各世帯間にかかなりの差があると推定されていたにもかかわらず、その実態は明らかにされていなかった。

そこで、昭和37年2月調査の集計に当って、約1,000世帯の世帯別集計を行なって各世帯についての熱量、蛋白質摂取量の世帯単位の栄養状態を明らかにすることができた。昭和38年度調査においても11月調査の集計に当って同じく約1,000世帯について世帯別集計を行なった。

なお、これらの比較に当ってはそれぞれの実数を各世帯の家族の年令、労働条件などの要素にもとづき成人1人1日当りに換算した数値によった。

ただし、熱量および蛋白質所要量の数値は、昭和35年栄養審議会発表の成人換算率の数値を用いた。

1) 熱 量

昭和38年度11月分においては、成人換算にもとづく全国成人1人1日当りの熱量摂取量は2,352カロリーとなるが、世帯別の分布状態をみると、熱量摂取の最も少ない家庭は1,700カロリー以下しかとっておらず、全国で5.7%、生産者世帯は9.2%、消費者世帯は4.3%もみとめられる。

また、たくさん摂取している家庭は3,700カロリー以上とっている家庭が1.7%みられ、前回調査の1.3%を上回っている。

第44表

成人1人1日当り熱量摂取量の分布(業態別・38年11月分)

単位=%

熱 量 Cal	総 数	生産者世帯	消費者世帯
1,699以下	5.7 (5.8)	9.2 (6.5)	4.3 (5.0)
1,700 ~ 2,099	22.4 (19.9)	30.8 (22.2)	19.3 (18.6)
2,100 ~ 2,499	34.6 (33.2)	26.3 (32.6)	37.9 (33.3)
2,500 ~ 2,899	23.7 (24.7)	20.0 (24.2)	25.0 (25.8)
2,900 ~ 3,299	8.3 (11.1)	8.8 (11.1)	8.0 (11.2)
3,300 ~ 3,699	3.6 (3.8)	3.3 (2.9)	3.8 (4.3)
3,700以上	1.7 (1.3)	1.6 (0.6)	1.7 (1.3)

成人1人1日当り蛋白質摂取量の分布

蛋 白 質 g	総 数	生産者世帯	消費者世帯
49以下	3.2 (3.5)	3.3 (4.2)	3.1 (3.3)
50 ~ 69	31.8 (28.0)	32.9 (29.4)	31.1 (27.2)
70 ~ 89	40.6 (40.9)	38.3 (41.8)	42.2 (40.3)
90 ~ 109	17.0 (19.5)	14.6 (17.3)	17.8 (21.1)
110 ~ 129	5.2 (5.3)	7.1 (4.8)	4.6 (5.3)
130 ~ 149	1.7 (2.1)	2.5 (1.8)	1.0 (2.3)
150 ~ 169	0.3 (0.7)	0.4 (0)	0.2 (0.8)
170以上	0.2	0.8	-

() 内数値は37年2月成績

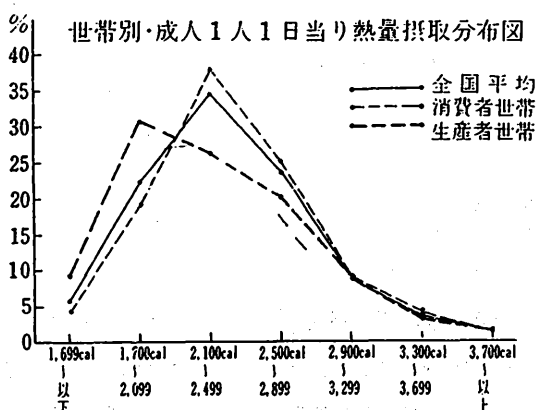
このように38年度調査の結果をみても熱量摂取量は各世帯間で大きな差があることがわかるのである。

また、最も分布の多いのは2,100~2,499カロリーの間で被調査世帯の34.6%でこれは前回調査の33.2%を若干上回るものである。

第 10 図

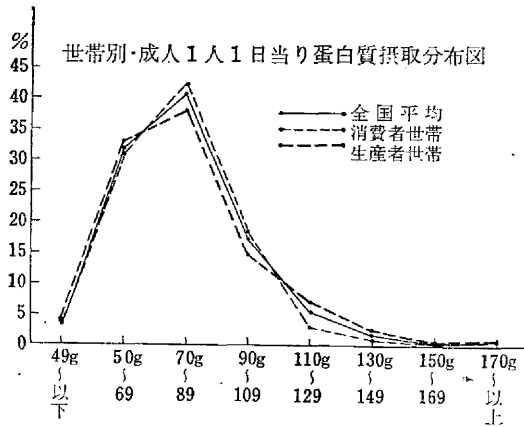
業態別にみると生産者世帯は1,700~2,099カロリーの間が最も多く30.8%を占めており前回に比べ摂取熱量の低い世帯が増えている。

なお、成人1人1日当り熱量所要量である2,500カロリーに満たない世帯数は全体の62.7%で前回調査の58.9%より多くなっている。



2) 蛋 白 質

第 11 図



次に蛋白質の成人1人1日当り摂取量は76.7グラムで前回調査の81.0グラムより若干減少している。各世帯の分布状況を見ると最低50グラムに満たない世帯が3.2%もあり、反面多い方では130グラム以上とっている世帯が2.2%あるなど、熱量以上に世帯間の差が著しい。

最も分布の多いのは70~89グラムの間で被調査世帯の40.6%を占め、次いで50~69グラムの範囲にある世帯が31.8%となっている。

また、成人1人1日当りの蛋白質所要量70グラムに達しない世帯が総数で35.0%、生産者世帯は36.2%、消費者世帯34.2%といずれも前回調査より多くなっている。

D 地区の特性別にみた食生活の傾向

昭和38年度国民栄養調査の成績を地区の特性による層別に食品の摂取量を集計したところ次のような結果が得られた。

第45表

地区の特性別・食品群別摂取量

単位 = g

	総 数	勤 め 人 労 務 者 地 区	漁 業 地 区	工 業 地 区	商 業 地 区	農 業 地 区
総 摂 取 量	1,157.6	1,163.9	1,024.1	1,115.7	1,154.4	1,157.4
動物性食品計	177.8	199.9	155.8	173.8	198.1	143.4
植物性食品計	979.8	964.0	868.3	941.8	956.3	1,014.1
米	350.7	315.0	356.5	347.3	334.8	393.1
小麦類	64.6	81.2	48.0	67.1	76.1	43.7
も類	52.8	50.8	59.2	48.6	47.7	57.7
砂糖類	13.4	13.1	13.0	13.1	12.6	14.3
油脂類	8.1	9.8	5.8	6.9	8.0	7.1
豆類	69.4	68.2	70.2	66.9	70.5	70.5
魚介類	77.5	71.3	105.9	75.5	77.7	77.7
肉類	28.2	36.3	19.2	28.5	37.1	16.1
卵類	27.6	33.0	14.8	27.6	32.1	22.1
乳・乳製品	44.7	59.3	16.0	42.3	51.2	27.5
緑黄色野菜	40.7	38.4	34.7	38.2	35.9	44.2
その他の野菜類	125.2	122.7	95.5	106.2	112.2	135.5
柑橘類・トマト	29.7	35.6	14.8	30.0	32.3	20.9
その他の果実類	65.9	72.4	31.7	66.1	69.0	62.7
動物性食品量		%	%	%	%	%
総 摂 取 量	15.4	17.2	15.2	15.6	17.2	12.4

1) 勤め人、労務者地区

勤め人、労務者世帯の多い地区の食事内容は、米の摂取量が315グラムで全国平均に比べ(-)10.2%も低く、反面小麦は81.2グラムで全国平均を(+)25.7%上回るなど主食の内容は他の地区に比べ洋風化の傾